

令和7年余市町議会第3回定例会会議録（第3号）

開 議 午前10時00分
閉 会 午前11時58分

○招 集 年 月 日

令和7年9月11日（木曜日）

○招 集 の 場 所

余市町議事堂

○開 議

令和7年9月16日（火曜日）午前10時

○出 席 議 員 （15名）

余市町議会議長	12番	藤 野 博 三
余市町議会副議長	3番	岸 本 好 且
余市町議会議員	1番	山 本 正 行
〃	2番	尾 森 加奈恵
〃	4番	佐 藤 剛 司
〃	5番	内 海 富美子
〃	6番	庄 巖 龍
〃	7番	中 井 寿 夫
〃	8番	川内谷 幸 恵
〃	9番	土 屋 美奈子
〃	11番	茅 根 英 昭
〃	13番	ジャストミートあたる
〃	14番	大 物 翔
〃	15番	白 川 栄美子
〃	16番	寺 田 進

余 市 町 長	齊 藤 啓 輔
副 町 長	渡 邊 郁 尚
総 務 部 長	高 橋 伸 明
総 務 課 長	越 智 英 章
財 政 課 長	高 田 幸 樹
税 務 課 長	成 田 文 明
民 生 部 長	阿 部 弘 亨
福 祉 課 長	大 森 直 也
子育て・健康推進課長	新 木 徹 也
保 険 課 長	枝 村 潤
環 境 対 策 課 長	佐々木 大 介
総 合 政 策 部 長	橋 端 良 平
政 策 推 進 課 長	荒 井 拓之介
農 林 水 産 課 長	北 島 貴 光
商 工 観 光 課 長	鈴 木 貴 之
建 設 水 道 部 長	紺 谷 友 之
建 設 課 長	井 上 健 男
まちづくり計画課長	二 木 二 郎
水道課長（併）下水道課長	後 藤 将 人
会計管理者（併）会計課長	小 黒 雅 文
農 業 委 員 会 事 務 局 長	佐々木 孝 太
教 育 委 員 会 教 育 長	前 坂 伸 也
教 育 部 長	浅 野 敏 昭
学 校 教 育 課 長	本 間 憲 明
選挙管理委員会事務局長 （併）監査委員事務局長	小 林 武

○欠 席 議 員 （0名）

○事務局職員出席者

○出 席 者

事 務 局 長 羽 生 満 広

議 事 係 長 中 山 達 郎
書 記 山 内 千 洋

第 1 4 議員の派遣について

第 1 5 閉会中の継続審査調査申出について

○議 事 日 程

- 議長の諸般報告
- 第 1 常任委員会委員の辞退について
- 第 2 議案第 3 号 余市町議会議員及び
余市町長の選挙における選挙運動の
公費負担に関する条例の一部を改正
する条例案
- 第 3 議案第 4 号 余市町職員の勤務時
間及び休日休暇に関する条例の一部
を改正する条例案
- 第 4 議案第 5 号 余市町職員の育児休
業等に関する条例の一部を改正する
条例案
- 第 5 議案第 6 号 余市町下水道条例の
一部を改正する条例案
- 第 6 議案第 7 号 余市町水道事業給水
条例の一部を改正する条例案
- 第 7 議案第 8 号 工事請負契約締結事
項の変更について
- 第 8 議案第 9 号 令和 6 年度余市町下
水道事業会計未処分利益剰余金の処
分について
- 第 9 認定第 1 号 令和 6 年度余市町水
道事業会計決算認定について
- 第 1 0 認定第 2 号 令和 6 年度余市町下
水道事業会計決算認定について
- 第 1 1 選挙第 1 号 後志教育研修センタ
ー組合議会議員の選挙について
- 第 1 2 意見案第 1 号 義務教育の機会均等
の確保と教育予算の確保・拡充を求
める要望意見書
- 第 1 3 意見案第 2 号 安全・安心の医療・
介護実現のため人員増と処遇改善を
求める要望意見書

開 議 午前 1 0 時 0 0 分

○議長（藤野博三君） ただいまから令和 7 年余
市町議会第 3 回定例会を再開いたします。

ただいまの出席議員は 15 名です。

よって、定足数に達しましたので、会議は成立
いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

○議長（藤野博三君） 12 日、議会運営委員会が
開催されましたので、その結果について委員長か
らの報告を求めます。

○11 番（茅根英昭君） 9 月 12 日、委員会室にお
きまして議会運営委員会が開催されましたので、
その審議経過並びに結果につきまして私からご報
告申し上げます。

委員 7 名の出席がありましたことをご報告申し
上げます。

今回審議されました内容につきましては、追加
案件についてであります。新たに追加されました
案件は、選挙 1 件、意見案 2 件、常任委員会委員
の辞退について、議員の派遣について、閉会中の
継続審査調査申出について、他に議長の諸般報告
であります。

なお、日程の割り振りにつきましては、議員各
位のお手元に日程表の配付がされておりますの
で、省略させていただきます。

さらに、内容につきましてご報告申し上げます。

日程第 1、常任委員会委員の辞退についてにつ
きましては、即決にてご審議いただくことに決し
ました。

日程第 11、選挙第 1 号 後志教育研修センタ
ー組合議会議員の選挙についてにつきましては、即
決にてご審議いただくことに決しました。

日程第 12、意見案第 1 号 義務教育の機会均等

の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書及び日程第13、意見案第2号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書の意見案2件につきましては、議員発議でありますので、それぞれ即決にてご審議いただくことに決しました。

日程第14、議員の派遣についてにつきましては、即決にてご審議いただくことに決しました。

日程第15、閉会中の継続審査調査申出についてであります。

以上を申し上げまして、議会運営委員会の報告といたします。

○議長（藤野博三君） 委員長の報告が終わりました。

ただいま議会運営委員会の委員長から報告ありましたとおり、選挙1件、意見案2件、常任委員会委員の辞退について、議員の派遣について、閉会中の継続審査調査申出について、他に議長の諸般報告を本日の日程に追加し、議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、選挙1件、意見案2件、常任委員会委員の辞退について、議員の派遣について、閉会中の継続審査調査申出について、他に議長の諸般報告についてを本日の日程に追加し、議題とすることにご決定いたしました。

なお、追加後の日程は、お手元に配付の日程表のとおりであります。

○議長（藤野博三君） この際、諸般の報告をいたします。

委員の派遣についてご報告申し上げます。会議規則第73条の規定に基づき、議会運営委員会より10月8日から10日までの3日間、神奈川県寒川町、神奈川県二宮町、総務産建常任委員会より10月21日から10月24日までの4日間、岡山県笠岡市、

三重県紀北町に所管事務調査に関わる行政視察のため委員の派遣要請があり、これを承認いたしましたので、ご報告いたします。

以上で諸般の報告を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時04分

再開 午前10時05分

○副議長（岸本好且君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長に代わって私が議事を統裁いたします。

○副議長（岸本好且君） 日程第1、常任委員会委員の辞退についてを議題といたします。

このたび民生教育常任委員会委員となっております藤野議長から、常任委員会委員の辞退願が提出されました。

議長は、その職責上どの常任委員会にも出席する権限を有しているほか、可否同数の際における裁決権など議長固有の権限を考慮するとき、一個の常任委員会に委員として所属することは適当ではなく、また行政実例でも議長については辞退を認めているところでもあり、民生教育常任委員会委員を辞退いたしたいとするものであります。

お諮りいたします。常任委員会委員の辞退については、同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、常任委員会委員の辞退については、同意することにご決定いたしました。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時07分

再開 午前10時08分

○議長（藤野博三君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○議長（藤野博三君） 日程第2、議案第3号 余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○総務課長（越智英章君） ただいま上程されました議案第3号 余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案につきまして、その提案理由をご説明申し上げます。

このたび公職選挙法施行令（昭和25年政令第89号）の一部を改正する政令（令和7年政令第200号）が令和7年6月4日に公布、施行され、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成に要する経費に係る限度額の引上げがなされたことに伴い、所要の改正を行おうとするものでございます。

以下、議案を朗読し、ご説明申し上げます。

議案第3号 余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案。

余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和7年9月11日提出、余市町長、齊藤啓輔。

次のページをお開き願います。余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例。

余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（令和2年余市町条例第20号）の一部を次のように改正する。

第8条中「7円73銭」を「8円38銭」に改める。

第11条中「541円31銭」を「586円88銭」に改める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

以上、議案第3号につきまして提案理由をご説

明申し上げましたので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

なお、参考資料といたしまして条例の新旧対照表を添付してございますので、ご高覧を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（藤野博三君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本案につきましては、会議規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第3号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより議案第3号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第3号 余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決されました。

○議長（藤野博三君） さきに議会運営委員会の委員長から報告がありましたように、日程第3、議案第4号 余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部を改正する条例案、日程第4、議案第5号 余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案の以上2件を一括議題

とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、日程第3及び日程第4を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○総務課長（越智英章君） ただいま一括上程になりました議案第4号 余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部を改正する条例案及び議案第5号 余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

本町職員の勤務時間及び休日休暇及び育児休業に関しましては、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が令和7年1月8日公布、令和7年10月1日から施行されることに伴い、職業生活と家庭生活との両立を一層容易にするため、子の年齢に応じた柔軟な働き方として職員が本人または配偶者の妊娠、出産等を申し出た場合及び子が3歳に達する前の2回、育児に係る両立支援制度に関する情報提供、意向確認、配慮を行うよう義務づけがされたこと、また部分休業制度の拡充として現行の1日につき30分単位で2時間を超えない範囲内の形態に加え、1年につき条例で定める時間、10日相当を超えない範囲内の形態の追加と部分休業の取得時間帯が廃止されたことから、余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例及び余市町職員の育児休業等に関する条例について、所要の改正を行おうとするものでございます。

以下、議案を朗読し、ご説明申し上げます。

初めに、議案第4号 余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部を改正する条例案を朗読いたします。

議案第4号 余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部を改正する条例案。

余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条

例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和7年9月11日提出、余市町長、齊藤啓輔。

次のページをお開き願います。余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部を改正する条例。

余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例（昭和35年余市町条例第3号）の一部を次のように改正する。

第7条第9項中「第10条の2第1項」を「第10条の3第1項」に改める。

第10条の3を第10条の4とする。

第10条の2中「申告、請求又は申出（次条において「請求等」という。）」を「請求等」に改め、同条を第10条の3とし、第10条の次に次の1条を加える。

（妊娠、出産等についての申出をした職員等に対する意向確認等）

第10条の2 任命権者は、余市町職員の育児休業等に関する条例（平成4年余市町条例第7号）第21条第1項の措置を講ずるに当たっては、同条の規定による申出をした職員（以下この項において「申出職員」という。）に対して、次に掲げる措置を講じなければならない。

（1） 申出職員の仕事と育児との両立に資する制度又は措置（次号において「出生時両立支援制度等」という。）その他の事項を知らせるための措置

（2） 出生時両立支援制度等の請求、申告又は申出（以下「請求等」という。）に係る申出職員の意向を確認するための措置

（3） 余市町職員の育児休業等に関する条例第21条の規定による申出に係る子の心身の状況又は育児に関する申出職員の家庭の状況に起因して当該子の出生の日以後に発生し、又は発生することが予想される職業生活と家庭生活との両立の支障となる事情の改善に資する事項に係る申出職員の意向を確認するための措置

2 任命権者は、3歳に満たない子を養育する職員（以下この項において「対象職員」という。）に対して、規則で定める期間内に、次に掲げる措置を講じなければならない。

（1）対象職員の仕事と育児との両立に資する制度又は措置（次号において「育児期両立支援制度等」という。）その他の事項を知らせるための措置

（2）育児期両立支援制度等の請求等に係る対象職員の意向を確認するための措置

（3）対象職員の3歳に満たない子の心身の状況又は育児に関する対象職員の家庭の状況に起因して発生し、又は発生することが予想される職業生活と家庭生活との両立の支障となる事情の改善に資する事項に係る対象職員の意向を確認するための措置

3 任命権者は、第1項第3号又は前項第3号の規定により意向を確認した事項の取扱いに当たっては、当該意向に配慮しなければならない。

次のページをお願いします。

附則

この条例は、令和7年10月1日から施行する。

次に、一括上程されております議案第5号 余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案を朗読いたします。

議案第5号 余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案。

余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和7年9月11日提出、余市町長、齊藤啓輔。

次のページをお願いします。余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例。

余市町職員の育児休業等に関する条例（平成4年余市町条例第7号）の一部を次のように改正する。

第1条中「第19条第1項及び第2項」を「第19条第1項から第3項まで及び第5項」に改める。

第17条第2号中「（以下「定年前再任用短時間勤務職員等」という。）」を削り、「を除く。」の次に「次条において同じ。」を加える。

第18条の見出し中「部分休業」を「第1号部分休業」に改め、同条第1項中「部分休業（育児休業法第19条第1項に規定する部分休業をいう。以下同じ。）の承認は、正規の勤務時間（非常勤職員（定年前再任用短時間勤務職員等を除く。以下この条において同じ。）にあっては、当該非常勤職員について定められた勤務時間）の始め又は終わりににおいて」を「育児休業法第19条第2項第1号に掲げる範囲内で請求する同条第1項に規定する部分休業（以下「第1号部分休業」という。）の承認は」に改め、同条第2項及び第3項中「部分休業」を「第1号部分休業」に改め、同条の次に次の4条を加える。

（第2号部分休業の承認）

第18条の2 育児休業法第19条第2項第2号に掲げる範囲内で請求する同条第1項に規定する部分休業（以下「第2号部分休業」という。）の承認は、1時間を単位として行うものとする。ただし、次の各号に掲げる場合にあっては、それぞれ当該各号に定める時間数の第2号部分休業を承認することができる。

（1）1回の勤務に係る日ごとの勤務時間に分を単位とした時間がある場合であって、当該勤務時間の全てについて承認の請求があったとき 当該勤務時間の時間数

（2）第2号部分休業の残時間数に1時間未満の端数がある場合であって、当該残時間数の全てについて承認の請求があったとき 当該残時間数

（育児休業法第19条第2項の条例で定める1年の期間）

第18条の3 育児休業法第19条第2項の条例で定める1年の期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(育児休業法第19条第2項第2号の人員規則で定める時間を基準として条例で定める時間)

第18条の4 育児休業法第19条第2項第2号の人事院規則で定める時間を基準として条例で定める時間は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 非常勤職員以外の職員 77時間30分
次のページをお願いします。

(2) 非常勤職員 当該非常勤職員の勤務日1日当たりの勤務時間数に10を乗じて得た時間

(育児休業法第19条第3項の条例で定める特別の事情)

第18条の5 育児休業法第19条第3項の条例で定める特別の事情は、配偶者が負傷又は疾病により入院したこと、配偶者と別居したことその他の同条第2項の規定による申出時に予測することができなかった事実が生じたことにより同条第3項の規定による変更(以下「第3項変更」という。)をしなければ同項の職員の小学校就学の始期に達するまでの子の養育に著しい支障が生じると任命権者が認める事情とする。

第19条中「職員が」の次に「育児休業法第19条第1項に規定する」を加える。

第20条を次のように改める。

(部分休業の承認の取消事由)

第20条 育児休業法第19条第6項において準用する育児休業法第5条第2項の条例で定める事由は、職員が第3項変更をしたときとする。

附則

(施行期日)

第1条 この条例は、令和7年10月1日から施行する。

(経過措置)

第2条 地方公務員の育児休業等に関する法律(平成3年法律第110号)第19条第2項第2号に掲げる範囲内において、この条例の施行の日から令和8年3月31日までの間における部分休業の承認

の請求をする場合におけるこの条例による改正後の余市町職員の育児休業等に関する条例第18条の4の規定の適用については、同条第1号中「77時間30分」とあるのは「38時間45分」と、同条第2号中「10」とあるのは「5」とする。

以上、一括上程されました議案第4号及び議案第5号につきまして提案理由をご説明申し上げましたので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

なお、参考資料といたしましてそれぞれ新旧対照表を添付してございますので、ご高覧を賜りますようお願い申し上げます。

○議長(藤野博三君) 提案理由の説明が終わりました。

一括議題の議案2件について、これより質疑を行います。

○2番(尾森加奈恵君) 2点質問させていただきます。

今回の改正で対象となる職員も拡大されましたし、内容自体も拡充されているのですけれども、現時点でどの程度の職員がこの制度を利用すると見込んでいるのか、現時点での利用状況と比較してどのような変化が予想されるのかお伺いします。

2点目ですが、今回の条例改正に伴い、この条例改正に伴った制度を利用するとなると、やはり利用しやすい環境を整えることが重要だと思うのですけれども、どのような方法で改正内容ですか制度を職員に分かりやすく周知して、利用を促進する予定なのかお伺いします。

以上、よろしくお願いします。

○総務課長(越智英章君) 2番、尾森議員のご質問に答弁をいたします。

今回の改正につきましては、部分休業の拡充と、あと任命権者として対象者について出産の申出をしたときと子供が3歳に達する前の2回職員に対して両立支援制度の説明、情報提供や意向確認を

するという改正でございます。現在部分休業につきましては利用している職員はおりません。ただ、今後、今回対象職員に対して義務づけがなされておりますので、対象職員についてはお話をして、意向を確認して、その措置を取るということでございます。

なお、そのほかに育児に係る情報提供、部分休業のほか、育児短時間勤務ですとか、あと妻の出産に伴う休暇ですとか子の療育のための休暇ですとか、メニューというのが10程度ございますので、それぞれ今回改正の部分休業のほかにそういった制度の説明などを職員にして、意向を確認するものでございます。

ちなみに、先ほど部分休業を取っている職員はいないと申し上げましたけれども、この制度の中の育児短時間勤務という制度を利用している職員は1名いるところでございます。

○2番（尾森加奈恵君） 部分休業はまだ今は取得がなくて、短時間勤務は1名いるということなのですけれども、今後この制度を使う職員が増えた場合、その該当する、対象になる職員のほかにその周りの、ほかの職員の人たちがサポートをしていくことになると思うのです。例えば短時間勤務で早く帰った人の業務をみんなでサポートしていくですとか、部分休業した人の業務をみんなでサポートしていくということが必要なもので、対象の職員以外の全員にこの制度が分かりやすく伝わる必要があると思うのですけれども、何か職員全員に向けた研修ですとか、何か説明資料を配付するですとか、そのようなことは行うのかお伺いします。

○総務課長（越智英章君） 2番、尾森議員のご質問に答弁をいたします。

対象職員のほかに制度としての説明する機会というのは今設ける考えはございません。ただ、その都度休暇する職員が、そういう希望職員があった場合、その職場に対しては説明をさせていただ

きたいと考えております。

○13番（ジャストミートあたる君） 今部分休業とあまり使用されていない現状が分かったわけですから、原因は何だと思われますか。

○総務課長（越智英章君） 13番、ジャストミートあたる議員のご質問に答弁をいたします。

使用されていない、利用されていない理由でございますが、部分休業につきましては休んだ時間分給与が減額されるものでございますので、職員の働き方だとか、その辺を考慮して、今のところ利用がないと思っております。

○議長（藤野博三君） 他に質疑はありませんか。
（「なし」の声あり）

これにて質疑を終結いたします。

まず、議案第4号についてお諮りいたします。本案につきましては、会議規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第4号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより議案第4号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第4号 余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部を改正する条例案は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第5号についてお諮りいたします。本案につきましては、会議規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第5号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより議案第5号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第5号 余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案は、原案のとおり可決されました。

○議長（藤野博三君） 日程第5、議案第6号 余市町下水道条例の一部を改正する条例案についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○下水道課長（後藤将人君） ただいま上程されました議案第6号 余市町下水道条例の一部を改正する条例案につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

本案は、災害、その他非常な場合において被災地における排水設備の新設等の工事の円滑な実施を図るため、国土交通省が定める標準下水道条例の一部が改正されたことにより、本町下水道条例におきましても所要の改正を行うものでございます。

改正の内容といたしましては、災害、その他非常な場合においては他の市町村長が指定した指定業者による排水設備等の工事の施工を可能とする規定を追加するものでございます。

以下、議案を朗読し、ご説明申し上げます。

議案第6号 余市町下水道条例の一部を改正する条例案。

余市町下水道条例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和7年9月11日提出、余市町長、齊藤啓輔。

次のページをお開き願います。余市町下水道条例の一部を改正する条例。

余市町下水道条例（昭和63年余市町条例第16号）の一部を次のように改正する。

第8条中「（規則で定める軽微な工事を除く。）は、」を「は、次に掲げる工事を除き、」に改め、同条ただし書を削り、同条に次の各号を加える。

（1） 規則で定める軽微な工事

（2） 町において行う工事

（3） 災害その他非常の場合において、町長が他の市町村長の指定を受けた者に工事を行わせる必要があると認めるときに、他の市町村長の指定を受けた者が行う工事

附則

この条例は、公布の日から施行する。

以上、議案第6号につきまして提案理由をご説明申し上げましたので、よろしくご審議、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。

なお、参考資料といたしまして条例の新旧対照表を添付しておりますので、ご高覧をいただきたいと存じます。

○議長（藤野博三君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

○13番（ジャストミートあたる君） いろいろ文言が増えたと思われます。こういった状況が考えられる、こういった追加された状況、これが考えられる事例というのはどういったものが考えられるでしょうか。

○下水道課長（後藤将人君） 13番、ジャストミートあたる議員のご質問に答弁いたします。

本改正につきましては、令和6年1月に発生しました能登半島地震において多くの家屋で排水設備等が破損したことや指定工事店自身も被災した

ことにより工事を行うことができる指定工事店が不足したことによって排水設備等の復旧が遅れることとなったことを踏まえての改正でありますので、ご理解願います。

○議長（藤野博三君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本案につきましては、会議規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第6号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより議案第6号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第6号 余市町下水道条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決されました。

○議長（藤野博三君） 日程第6、議案第7号 余市町水道事業給水条例の一部を改正する条例案についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○水道課長（後藤将人君） ただいま上程されました議案第7号 余市町水道事業給水条例の一部を改正する条例案につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

本案は、災害、その他非常な場合において被災地における給水装置工事の適正な実施を図るた

め、国土交通省からの通知に基づき、余市町下水道条例と同様、本町水道事業給水条例におきましても所要の改正を行うものでございます。

改正の内容といたしましては、災害、その他非常な場合においては他の市町村長が指定した給水装置工事事業者による給水装置工事の施工を可能とする規定を追加するものでございます。

以下、議案を朗読し、ご説明申し上げます。

議案第7号 余市町水道事業給水条例の一部を改正する条例案。

余市町水道事業給水条例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和7年9月11日提出、余市町長、齊藤啓輔。

次のページをお開き願います。余市町水道事業給水条例の一部を改正する条例。

余市町水道事業給水条例（昭和39年余市町条例第30号）の一部を次のように改正する。

第7条第1項に次のただし書を加える。

ただし、災害その他非常の場合において、町長が他の市町村長又は他の市町村長が同項の指定をした者が給水装置工事を施行する必要があると認めるときは、この限りでない。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

以上、議案第7号につきまして提案理由をご説明申し上げましたので、よろしくご審議、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。

なお、参考資料といたしまして条例の新旧対照表を添付しておりますので、ご高覧をいただきたいと存じます。

○議長（藤野博三君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

○13番（ジャストミートあたる君） こちらも能登半島の災害がきっかけと見てよろしいでしょうか。

○水道課長（後藤将人君） 13番、ジャストミー

トあたる議員からのご質問に答弁申し上げます。

水道給水条例の改正につきましても、下水道条例と同様に能登半島地震を踏まえての改正となりますので、ご理解願います。

○議長（藤野博三君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本案につきましては、会議規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第7号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより議案第7号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第7号 余市町水道事業給水条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決されました。

○議長（藤野博三君） 日程第7、議案第8号 工事請負契約締結事項の変更についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○水道課長（後藤将人君） ただいま上程されました議案第8号 工事請負契約締結事項の変更について、提案理由をご説明申し上げます。

このたびご提案申し上げました工事請負契約締結事項の変更につきましては、さきで開催された令和7年第5回臨時会にてご審議、ご決定賜りま

した令和7年度余市町水道事業会計補正予算（第1号）に係る中央監視設備更新工事であります。概要といたしましては、令和8年度までの債務負担行為を設定し、令和5年度より実施しております令和5年度中央監視設備更新工事におきまして、老朽化を起因とする不具合が新たに確認された膜ろ過制御盤等の更新を追加するものであります。この工事の追加により、令和5年5月26日に議決をいただきました工事請負契約の締結事項のうち契約金額に変更が生じることから、再度本会議にご提案申し上げる次第であります。

以下、議案を朗読し、ご説明申し上げます。

議案第8号 工事請負契約締結事項の変更について。

令和5年5月26日議決の工事請負契約締結について、次のとおり契約事項の一部を変更したいので、議会の議決を求める。

令和7年9月11日提出、余市町長、齊藤啓輔。

次のページをお開き願います。工事請負契約締結事項の変更について。

令和5年5月26日議決の工事請負契約締結「令和5年度 中央監視設備更新工事」事項の一部を次のように変更する。

記。

第3号契約金額の部分中「一金8億7,450万円也」を「一金9億6,322万6,000円也」に改める。

以上、議案第8号につきまして提案理由をご説明申し上げましたので、よろしくご審議、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。

なお、参考資料を添付しておりますので、ご高覧をいただきたいと存じます。

○議長（藤野博三君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

○13番（ジャストミートあたる君） 見直して1億円ぐらい上がっているのですけれども、これ内訳どうなっていますでしょうか。

○水道課長（後藤将人君） 13番、ジャストミートあたる議員からのご質問に答弁申し上げます。

一応今回の更新工事に関しましては、令和7年第5回臨時会で補正予算でご提案し、ご審議、ご決定いただきました部分の工事の変更になります。内訳の内容としましては、膜ろ過制御盤の更新が2基で7,400万円程度、その他関連する中央監視装置の改修等で約1,300万円程度かかっておりますので、ご理解願います。

○13番（ジャストミートあたる君） これ1億円も上がった理由は何でしょうか。

○議長（藤野博三君） ジャストミートあたる議員に申します。

これは補正で議決いただいておりますので、その辺を考えた上で理事者から答弁を求めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○水道課長（後藤将人君） 13番、ジャストミートあたる議員からの再度のご質問に答弁申し上げます。

余市川浄水場の中央監視設備更新工事につきましては、令和5年度からの実施ということで、令和4年度に実施設計を行いまして、令和3年度に要更新箇所の選定を行っております。その段階で膜ろ過制御盤等は耐用年数がまだ経過していないということもありましたので、次の更新時に更新を予定しておりましたけれども、今回制御盤の更新に向けて現地調査を行ったところ、不具合が発見されたところでありますので、更新を前倒しして行うということです。1億円程度増額となったところでございますので、ご理解願います。

○議長（藤野博三君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本案につきましては、会議規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略したいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第8号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより議案第8号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第8号 工事請負契約締結事項の変更については、原案のとおり可決されました。

○議長（藤野博三君） 日程第8、議案第9号 令和6年度余市町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○下水道課長（後藤将人君） ただいま上程されました議案第9号 令和6年度余市町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、その提案理由をご説明申し上げます。

このたび令和6年度下水道事業会計の決算におきまして当年度純利益により未処分利益剰余金が発生したことから、余市町下水道事業の剰余金の処分等に関する規則に定めた基準に基づき、その一部を減債積立金へ積み立て、残余を繰越利益剰余金として繰越ししたく、ご提案申し上げるものでございます。

以下、議案を朗読し、ご説明申し上げます。

議案第9号 令和6年度余市町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について。

令和6年度余市町下水道事業会計未処分利益剰余金を次のとおり処分することについて、地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第32条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和7年9月11日提出、余市町長、齊藤啓輔。
次ページをお開き願います。
記。

令和6年度余市町下水道事業会計未処分利益剰余金1,226万8,681円のうち70万円を減債積立金に積立て、残余を繰り越すものとする。

以上、議案第9号につきまして提案理由をご説明申し上げましたので、よろしくご審議、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（藤野博三君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

○13番（ジャストミートあたる君） 70万円を減債積立金に積み立てると書いていますが、この70万円の根拠というのをお知らせいただきたい。

○下水道課長（後藤将人君） 13番、ジャストミートあたる議員からのご質問に答弁申し上げます。

剰余金の処分についてのご質問、70万円の根拠についてのご質問でございますけれども、以前は地方公営企業法の規定によりまして、利益が出た場合は前年度からの繰越欠損金がある場合はこれを埋めて、なおかつ残額がある場合にはこれを処分する法律上の規定、その剰余金の20分の1以上を法定積立金ということで減債積立金に積むという規定がございました。平成24年の法律改正によりましてこの規定が削除されたところでございますが、本町におきましては従前の法令の適用と同様の規定を企業規定に盛り込んだ措置を行っているものでございます。したがって、当年度純利益1,226万8,681円の20分の1を下らない金額、70万円を減債積立金に積み立てるものでございますので、ご理解願います。

○議長（藤野博三君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本案につきましては、会議

規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第9号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより議案第9号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第9号 令和6年度余市町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、原案のとおり可決されました。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時49分

再開 午前11時00分

○議長（藤野博三君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○議長（藤野博三君） 次に、さきに議会運営委員会の委員長から報告がありましたように、日程第9、認定第1号 令和6年度余市町下水道事業会計決算認定について、日程第10、認定第2号 令和6年度余市町下水道事業会計決算認定についての以上2件を一括議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、日程第9及び日程第10を一括議題といたします。

お諮りいたします。本案については、さきに議

会運営委員会の委員長から報告のとおり、議長並びに議会選出の監査委員を除く議員13名をもって構成する令和6年度余市町各事業会計決算特別委員会を設置し、閉会中といえども審査、調査のできることを付け加え、付託申し上げることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本案については議長並びに議会選出の監査委員を除く議員13名をもって構成する令和6年度余市町各事業会計決算特別委員会を設置し、閉会中といえども審査、調査のできますことを付け加え、付託申し上げることに決定いたしました。

なお、ただいま設置されました特別委員会に対しては、審査、調査の円滑化を図るため、地方自治法第98条の規定による書類の検閲及び検査の権限を付与することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、ただいま設置されました特別委員会に対し、地方自治法第98条の規定による書類の検閲及び検査の権限を付与することに決しました。

なお、本会議終了後、301、302号会議室において本特別委員会を開催いたしますので、ご参集をお願いいたします。

○議長（藤野博三君） 日程第11、選挙第1号 後志教育研修センター組合議会議員の選挙についてを議題といたします。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

お諮りいたします。指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

後志教育研修センター組合議会議員に庄巖龍議員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました庄巖龍議員を後志教育研修センター組合議会議員の当選人と定めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました庄巖龍議員が後志教育研修センター組合議会議員に当選されました。

ただいま後志教育研修センター組合議会議員に当選されました庄議員が議長におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定により告知をいたします。

○議長（藤野博三君） 日程第12、意見案第1号 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書を議題といたします。

お諮りいたします。本案につきましては、提出者の説明を省略することにいたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、提出者の説明は省略することに決しました。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本案につきましては、会議

規則第38条第3項の規定により委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、意見案第1号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

○13番（ジャストミートあたる君） 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書に賛成の立場から討論させていただきます。

義務教育費国庫負担法は、平成18年の改正後、国の負担が2分の1から3分の1に引き下げられた。3分の2は地方交付税で措置されるとあります。教育費の総額は変わらないとされていますが、地方交付税は一般財源であり、教育費に充当されとは限らないということで、北見市のように急激に悪化した場合、インフラ維持や財源不足の場合にそちらに回されるおそれがあると。ゆえに、教職員の採用や処遇改善の遅れに直結しかねないことになる。余市のような小規模かつ過疎地域では、学校運営の安定性に影響を与えかねない。つまり教育に地域差が出やすい状況にあるということになります。憲法の視点からも26条ではひとしく教育を受ける権利を有するとあるが、自治体の財政によってはこれも不安定化してしまい、権利が損なわれかねない。何なら教育費は100%国が負担すべきと僕は考えます。その上で、自治体の財政状況に合わせてその分、足りない分は上乘せすればいいのではないですかと。これ以上教育の質の担保を弱めるわけにはいきません。自民党、公明党は、海外に支援する前に自国の子供たちの教育に安心を提供せよと。

以上の理由から、この意見書には賛成という立場で討論とさせていただきます。

○議長（藤野博三君） 他に討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

これをもって討論を終結いたします。

これより意見案第1号を採決いたします。

この採決は起立により行います。

本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

ただいまの採決については、起立者の多少の認定が困難であります。したがって、会議規則第80条第2項の規定により、本案については投票により採決を行います。

この採決は無記名投票により行います。

議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

ただいまの出席議員は14名です。

投票用紙を配付させます。

（投票用紙配付）

投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

（投票箱点検）

異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

本案について可とするものは賛成、否とするものは反対と記載願います。

1番、山本議員より議席順に順次投票をお願いいたします。

（投票）

投票漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

（議場閉鎖）

開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に

1 番、山本議員、11 番、茅根議員、15 番、白川議員を指名いたします。

3 議員の立会をお願いいたします。

(開 票)

投票の結果を報告いたします。

投票総数14票、これは先ほどの出席議員数に符合いたします。

うち有効投票13票、無効投票 1 票。

有効投票のうち賛成 7 票、反対 6 票。

よって、意見案第 1 号 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書は、可決されました。

○議長（藤野博三君） 日程第13、意見案第 2 号

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書を議題といたします。

お諮りいたします。本案につきましては、提出者の説明を省略することにいたしたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、提出者の説明は省略することに決しました。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本案につきましては、会議規則第38条第 3 項の規定により委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、意見案第 2 号については委員会の付託を省略することに決しました。

討論はありませんか。

(何事か声あり)

13 番、ジャストミートあたる議員、確認いたし

ます。

反対討論でしょうか、賛成討論でしょうか。

(「賛成討論」の声あり)

反対討論の方はいらっしゃいませんか。

(「なし」の声あり)

討論をお願いいたします。

○13 番（ジャストミートあたる君） 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書について賛成の立場から討論させていただきます。

まず、記の 1 番、医師、看護師、介護職員など配置基準を抜本的に見直し、医療や介護現場で働く全てのケア労働者の賃上げと人員配置増につなげるよう全額公費による追加の賃上げ支援策を実行することに対して、これは公費による賃上げ策と介護職等の配置適正化についてだと思われませんが、これ国に対して財政措置を求めるものなので、町の財政は削られませんので、これ余市町としては何も犠牲がないまま要求を通していいと思われれます。

次に、2、全ての医療機関と介護事業所を対象に物価高騰や人件費増を補えるだけの診療報酬と介護報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること、これは報酬について書かれていると思いますが、私は直近の問題として訪問介護の移動時間が報酬対象外というのもこれに含まれると思っています。訪問介護の報酬は利用者宅で実際に提供したサービス時間に基づくもので、農村部や過疎地では利用者宅が遠いため移動に時間がかかるが、この時間は報酬として払われないので、報酬は変わらないわけです。こういったところに少しぐらいちょっと補助出してもいいのではないかなと思って、まずガス代ぐらいは上乘せしてもいいのではないかと思います。

3 番、医療や介護現場における夜勤交代制労働の労働時間の上限規制や勤務間インターバル確保、夜勤回数の制限、週労働時間の短縮、1 人夜

勤体制から複数夜勤体制の移行など労働環境を抜本的に改善することについてですが、これ1人夜勤から複数夜勤体制の部分が重要と考えております。労働時間の上限規制や夜勤回数の制限は、人が確保できてこそと思われま。規制よりも解放を優先するべき。1人夜勤は数名の入所者を一人で見るのが当たり前の状況で、転倒や排せつ介助、急変時の対応が重なったときに一人で対応できるでしょうか。恐らくできないでしょう。ずばりこの環境は苛酷と言わざるを得ない。苛酷だから辞める、そして人員が減る、より苛酷になっていくという負のスパイラルが今の現状ではないか。それを解消するためには報酬を上げ、人員を確保する必要があります。この要望も至極真っ当でございます。

4番、新たな感染症や災害対策に備えるため公立、公的病院を拡充、強化し、保健所の増設など公衆衛生体制を拡充することについてですが、これは当然の要望であり、常にこれは声を上げていかなければならないことであります。

なので、ゆえに安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書については、全面的に賛成の立場からこれを討論とさせていただきます。

○議長（藤野博三君） 他に討論はありませんか。
（「なし」の声あり）

これをもって討論を終結いたします。

これより意見案第2号を採決いたします。

この採決は起立により行います。

本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

ただいま採決については、起立者の多少の認定が困難であります。したがって、会議規則第80条第2項の規定により、本案については投票により採決を行います。

この投票は無記名投票により行います。

議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

ただいまの出席議員は14名です。

投票用紙を配付させます。

（投票用紙配付）

投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

（投票箱点検）

異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

本案については可とするものは賛成、否とするものは反対と記載願います。

それでは、1番、山本議員より議席順に順次投票をお願いいたします。

（投票）

投票漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

（議場開鎖）

開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に6番、庄議員、9番、土屋議員、16番、寺田議員を指名いたします。

3議員の立会をお願いいたします。

（開票）

議事の進行上、暫時休憩いたします。

休憩 午前11時29分

再開 午前11時56分

○議長（藤野博三君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

投票の結果を報告いたします。

投票総数14票、これは先ほどの出席議員数に符

合いたします。

うち有効投票14票、無効投票ゼロ票。

有効投票のうち賛成7票、反対7票。

以上のとおり、投票の結果、賛成、反対が同数であります。

したがって、地方自治法第116条の規定により、議長が本案に対する可否を裁決いたします。

意見案第2号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書については、議長は否決と裁決いたします。

○議長（藤野博三君） 日程第14、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第121条の規定により、お手元に配付のとおり派遣することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議員の派遣をすることに決しました。

○議長（藤野博三君） 日程第15、閉会中の継続審査調査申出について。

各常任委員会並びに議会運営委員会の委員長から、目下委員会において審査調査中の事件につき、会議規則第74条の規定により、お手元に配付いたしました申出のとおり閉会中の継続審査調査の申出があります。

お諮りいたします。各委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査調査に付することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、各委員長から申出のとおり閉会中の継続審査調査に付することに決しました。

○議長（藤野博三君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

よって、会議を閉じます。

これをもって令和7年余市町議会第3回定例会を閉会いたします。

閉 会 午前11時58分

上記会議録は、中山書記・山内書記の記載したものであるが、その内容が正確であることを証する為、ここに署名する。

余市町議会議長 12番 藤 野 博 三

余市町議会副議長 3番 岸 本 好 且

余市町議会議員 2番 尾 森 加 奈 恵

余市町議会議員 4番 佐 藤 剛 司

余市町議会議員 5番 内 海 富 美 子